



かすみがうら市  
KASUMIGAURA

# 議会だより

No. 25

## 目次 CONTENTS

- P2-3 トピックス
  - ・緊急要望（原発事故による風評被害等の解消に向けて）
  - ・決議・附帯決議・予算修正概要
- P4-6 3月定例会提出議案
- P7 施政方針に対する質問・緊急質問
- P8-10 委員会の活動
- P11-13 一般質問
- P14 コラム



このたびの東日本大震災により  
被災された皆様方に、  
心よりお見舞いを申し上げます。  
議員一同、震災復興に向けて  
全力で取り組みます。

◀ 大塚ファミリー公園



## 原発事故による風評被害等の解消に向けて

福島第1原子力発電所の事故による放射性物質の拡散等により、農畜水産物の出荷制限や風評被害が発生したことに伴い、生産者等に対する補償や風評被害対策についての緊急要望書を厚生労働大臣、農林水産大臣あてに提出しました。



▲篠原農林水産副大臣に要望書を提出する。  
一番左は大泉衆議院議員（茨城県6区選出）

副議長 小座野 定光  
議長 栗山 千枝  
議員 佐藤 文雄  
議員 加藤 誠治  
議員 小松 智子  
議員 古橋 樹  
議員 山本 文雄  
議員 岡村 文雄  
議員 川村 成二  
かすみがうら市商工会理事 勝美  
土浦農業協同組合常務理事 坂原 孝  
茨城千代田農業協同組合 理事 統括部長 岩瀬 儀喜  
霞ヶ浦漁業協同組合 支部部長 桜井 謙治  
かすみがうら市農業委員会 会長 職務代理者 外塚 孝雄  
千代田果樹観光協会会長 福田 秀世  
かすみがうら市レジャー農園会長 櫻井 清久  
かすみがうら市物産会会長 久松 好  
霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合 支部部長 戸田 廣  
かすみがうら市畜産協会会長 山崎 裕司

【緊急要望参加者】

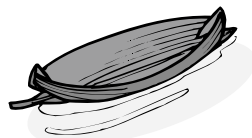
### 「議案第20号 平成23年度かすみ がうら市一般会計予算」の修正概要

（提案理由より引用）

行財政改革の一環である補助金の見直しは、必要性を踏まえつつも、その手法は、事業の実態を掌握し、推進すべきであることから、商工振興対策事業費補助金は、500万円の削減ではなく250万円の削減、シルバー人材センター補助金は、200万円の削減ではなく100万円の削減といたしました。

また、石岡地方斎場建設負担金については、予備費内の1億6622万9000円が、予見できる経費であるとの判断から、その目的に従って、衛生費に計上いたしました。

なお、修正方法は、すべて予備費より組み替えを行い、提案された予算総額は変更しておりません。



### 議案第12号 かすみがうら市国民健康保険 税条例の一部を改正する条例案に対する 附帯決議

（委員会発議により提出され賛成多数で可決しました。）

#### 【提案理由】

「議案第12号 かすみがうら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案」は、宮嶋市長が、選挙公約として掲げる国保制度の改革であり、概要としては、応能・応益を変更し、税率を近隣市町村の水準にすることを目的とし、あわせて、一般会計からの繰出金9561万8000円を増額措置するものであります。

文教厚生委員会の審議においても、本案は、一部の納税者の負担を軽減する反面、応能・応益の変更により、一部負担増となることが、指摘されました。

市当局は、大変大きな制度改革であることを認識し、改正概要について、執行者の責務として、説明責任を果たし、さらに、改正の趣旨や概要について、市民に対し、徹底した周知を図り、あわせて、周知状況について、議会に報告することを求めるものであります。

## 石岡地方斎場建設に関する適切な措置を求める決議

(議員発議により提出され賛成多数で可決しました。)

### 【提案理由】

石岡地方斎場組合が進めている石岡地方斎場の移転計画については、これまで長年の課題でありましたが、構成市の合意のもとに、やっと事業着手に至ったものであります。

一方、「石岡地方斎場移転計画の見直し」を公約として掲げる宮嶋市長は、石岡地方斎場組合の管理者に対し、次の三つを要請しております。一つには、斎場部分の削減、二つには、火葬炉8基を5基に、三つには、駐車場約300台の駐車スペースの縮減であります。

これらを受け、石岡市と小美玉市は、妥協案として、かすみがうら市に対し、火葬炉数を、設置数6基と予備スペース2基とすることを提案されました。

しかし、宮嶋市長は、これらに合意できないとして、火葬炉6基を主張し、現在でも、平行線をたどっている状況であります。

さらには、本定例会に提出された「平成23年度かすみがうら市一般会計当初予算(案)」においても、石岡地方斎場整備負担金を4款の衛生費に計上せず、予備費に約1億6600万円を計上するなど、前代未聞の提案をしております。

老朽化した石岡地方斎場の建設は、千代田地域の市民にとって、必要不可欠な整備であり、単独整備は、到底考えられるものではありません。

しかし、これら大多数の市民の考えとは裏腹に、宮嶋市長が見直しを強く求めていることから、千代田地域の市民にとっては、大きな不安となっているところであります。

我々議会は、何よりもまず『組合からの離脱』という住民不安を解消し、あわせて、石岡市と小美玉市とかすみがうら市、3市の信頼を回復するためにも、市長にあっては、石岡地方斎場の建設を計画どおり推進するよう、強く求めるものであります。

## 平成23年 かすみがうら市議会 第1回議員研修会

### 講演

### 「不当要求への対応等について」



本会議初日(3月1日)終了後、土浦警察署長の真家陽一様にご挨拶を頂いた後、刑事二課長の油川智樹様より講習を受けました。

## 事務検査に関する決議

(委員会発議により提出され全会一致で可決しました。)

### 【提案理由】

五輪堂橋改修工事に関する整備負担金については、これまで茨城県、石岡市、かすみがうら市の三者負担により整備することで事前合意がなされ、協議が進められて参りました。

しかし、平成22年12月1日に、茨城県とかすみがうら市により二者協定が締結されたことにより、石岡市の負担分4427万6000円は、かすみがうら市が負担することとなりました。

もとより、行政界の道路や橋梁等は、隣接する地方公共団体が相互に負担しあい、整備促進することが一般的であり、それは取りも直さず、行政運営を公正かつ効率的に推進することであり、また、行政に要求されることでもあります。

以上のことから、五輪堂橋改修工事の協定の締結に至る経緯及び負担のあり方について、地方自治法第98条第1項により、産業建設委員会で検査を行うというものであります。

(検査権については、14ページの豆辞典をご参照下さい。)

平成23年

## 第1回定例会



平成23年第1回定例会は、3月1日から3月24日までの24日間の会期で開催されました。今定例会では、平成23年度各会計当初予算、条例の制定及び一部改正、平成22年度各会計補正予算などについて、各所管の常任委員会へそれぞれ付託して審査を行ったほか、3月2日、3日の2日間において一般質問（後頁P11～13）を行いました。

今定例会に上程された議案等は次のとおりです。

▼報告第1号

専決処分の報告について

下稲吉中学校校舎耐震補強工事について、地下埋設ケーブル及び仮設給水場を増設したことによる変更請負契約を専決処分したものです。

▼議案第3号

副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について

否決

平成23年4月1日から現市長の任期に限り、副市長の給料月額を100分の10減ずるための条例を制定するものです。

▼議案第4号

教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について

否決

平成23年4月1日から現市長の任期に限り、教育長の給料月額を100分の10減ずるための条例を制定するものです。

▼議案第5号

かすみがうら市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条

例の制定について

可決

平成22年8月に、国家公務員の給与等に対し人事院勧告が提出され給与が改定されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

▼議案第6号

かすみがうら市行政組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

否決

▼議案第7号

かすみがうら市光をそそぐ交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

可決

「住民生活に光をそそぐ交付金」の一部を活用し、虐待や自殺予防対策として専門相談員や図書館司書を配置する財源に充てることなどを目的とした基金条例を設置するものです。

▼議案第8号

かすみがうら市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決

市外に住所を有する特別職の職員が会議等に出席した場合の費用弁償と、嘱託員の通勤に係る費用の一部を支給するため、条例の一部を改正するものです。

▼議案第9号

かすみがうら市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

可決

老人保健特別会計を廃止するものです。

▼議案第10号

かすみがうら市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決

土地の埋め立て事業を適正に処理するため、条例の一部を改正するものです。

▼議案第11号

かすみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

可決

出産育児一時金の支給額を暫定的に引き上げる特例措置が終了することに伴い、必要な改正を行うものです。





▲ 3月24日の本会議は、東日本大震災により議場が損壊したため、千代田庁舎防災センターに会場を変更して行いました。

▼▼ 議案第12号  
 かすみがうら市国民健康保険税  
 条例の一部を改正する条例の制  
 定について

可決

国民健康保険税の基礎課税額のうち、所得割額、資産割額について引き下げを行い、高齢者支援金分、介護保険分については引き上げを行うものです。  
 さらに賦課限度額について引き上げを行うため、条例の一部を改正するものです。

▼▼ 議案第13号  
 かすみがうら市公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決

牛渡地区公民館、安飾地区公民館の移転に伴い、施設の位置を変更するため条例の一部を改正するものです。

▼▼ 議案第14号  
 平成22年度かすみがうら市一般会計補正予算(第7号)

可決

▼▼ 議案第15号  
 平成22年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

可決

▼▼ 議案第16号  
 平成22年度かすみがうら市老人保健特別会計補正予算(第2号)

可決

▼▼ 議案第17号  
 平成22年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第5号)

可決

▼▼ 議案第18号  
 平成22年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算(第4号)

可決

▼▼ 議案第19号  
 平成22年度かすみがうら市水道事業会計補正予算(第2号)

可決

▼▼ 議案第20号  
 平成23年度かすみがうら市一般会計予算

修正可決

(内容はP2を参照願います。)

▼▼ 議案第21号  
 平成23年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算

可決

▼▼ 議案第22号  
 平成23年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算

可決

▼▼ 議案第23号  
 平成23年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算

可決

▼▼ 議案第24号  
 平成23年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算

可決

▼▼ 議案第25号  
 平成23年度かすみがうら市介護保険特別会計予算

可決

▼▼ 議案第26号  
 平成23年度かすみがうら市水道事業会計予算

可決

▼▼ 議案第27号  
 土浦石岡地方広域市町村圏協議会の廃止について

可決

# 3月定例会提出議案

▼ 議案第28号  
市道路線の変更について

**可決**

▼ 議案第29号  
市道路線の認定について

**可決**

▼ 議案第30号  
市道路線の認定について

**可決**

▼ 議案第31号  
かすみがうら市暴力団排除条例の制定について

**可決**

県において本年4月1日から施行され、市町村も一体となった取り組みが必要なことから制定するものです。

▼ 議案第32号

市長の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**可決**

職員の不祥事の責任を明らかにするため、市長の給料月額を平成23年4月30日まで、現行の50%削減に加え、さらに、10%を削減するものです。

▼ 議案第33号

教育委員会教育長の給料月額

特例に関する条例の制定について

**可決**

職員の不祥事の責任を明らかにするため、教育長の給料月額を平成23年4月30日まで、10%を削減するものです。

▼ 諮問第1号

人権擁護委員の候補者の推薦について

**原案答申**

▼ 諮問第2号

人権擁護委員の候補者の推薦について

**原案答申**

▼ 委員会発議第1号

環太平洋連携協定（TPP）への参加に関する意見書

**可決**

▼ 委員会発議第2号

事務検査に関する決議

**可決**

▼ 委員会発議第3号

議案第12号 かすみがうら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案に対する附帯決議

**可決**

（内容はP2を参照願います。）

▼ 議員発議第1号

かすみがうら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

**可決**

▼ 議員発議第2号

石岡地方斎場建設に関する適切な措置を求める決議

**可決**

（内容はP2を参照願います。）

▼ 選挙第7号

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙

**当選**

小松崎 誠 議員

▼ 選挙第8号

土浦・かすみがうら土地画整理一部事務組合議会議員の選挙

**当選**

栗山千勝 議員  
鈴木良道 議員  
加固豊治 議員  
岡崎勉 議員

閉会中の継続審査について

**決定**

閉会中の所管事務調査について

**決定**

## 請願・陳情の審査結果

▼ 請願第1号

八ッ場ダム等水源開発の検証検討について

**継続審査**

▼ 請願第2号

保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

**継続審査**

▼ 請願第3号

TPP交渉参加反対に関する緊急請願

**採択**

▼ 請願第4号

建設業協会の経営改善等に関する請願書

**採択**

▼ 請願第5号

かすみがうら市商工会市補助金に関する請願書

**趣旨採択**

▼ 陳情第2号

陳情書「補助金減額見直しをお願いについて」

**趣旨採択**

## 3月1日に行われた市長の施政方針に対し質問がありました。

**Q** 市民参加型のまちづくりを理想と考えるようですが、多くの場合、世帯を代表するのが男性で、各地域における活動の中に女性の意見が反映されにくくなっておりますが、市民の半分を占める女性の参画をどのように進めていこうとしているのか伺う。(田谷文子議員)

**A** 男女共同参画社会の構築につきましては男女共同参画推進本部で決定しているとおり、審議会等は住民の意見を的確に繁栄できるような委員構成である必要があると思われまふ。そのためには、人口の半分を占める女性が委員として参加する割合をさらに向上させ、男女の人数をなるべく均衡させることが望ましいとされており、このような基本的な考え方に従い、審議会等の委員については、今後とも女性の登用を進めてまいりたいと考えております。

**Q** 「自然と調和した快適なまちづくり」として、地震に強い住宅の耐震診断に係る費用の一部補助について伺う。(佐藤文雄議員)

**A** 地震に強い住宅の診断に係る一部補助については、昨年度と同様に耐震診断士を派遣し、診断に係る一部費用を助成します。

**Q** 消防の広域化と消防団の計画的な統合について、その具体的な内容について伺う。(佐藤文雄議員)

**A** 消防の広域化については、茨城県消防広域化推進計画に基づき、県内を5ブロックに区割りして協議を進めていきます。当市は県南ブロックの8消防本部の統合となり、消防団士の業務の洗い出しは既に済んでいます。現在は電波法改正に伴う消防救急無線のデジタル化や消防指令業務の共同化を先行する予定で、3月末に(仮称)茨城県消防救急無線指令センター整備推進協議会が発足する計画となっております。119番受信指令業務を県一本化することを重点に進んでいる状況です。また、広域化についても同時に協議していただくよう、県等に要望しています。

**Q** 要望事項を地元とよく確認し、議会とも打ち合わせをしていただいて、国や県、上級庁に補助金や交付金等を要望することは、市長だからこそその仕事だと思うが、市長の考えを伺う。(古橋智樹議員)

**A** 制度的なものがあれば、国や県の資金を活用していくということをご指摘のとおりだと思います。ただ、自助努力も大事であるということです。

**Q** 板橋区の大山商店街アンテナショップは、最終的に何年ぐらいで立ち上げて、どのぐらいの経費を投入していくのか伺う。(栗山千勝議員)

**A** 市の支援は1年を計画しています。公募した出店者が営業をし、その後は自主努力でお願いするような形になるかと思ひます。平成23年度は、予算として676万9000円を計上しています。

### 緊急質問 (栗山千勝議員)

#### 東日本大震災時の市長の姿勢を質す

**Q** この大地震時に、議会の会期中にもかかわらず、個人の用で自宅にいたとのこと。議長からの出席要求も出ており、会期中は議案の提案者として、当然、待機してなければならぬ。緊急性のある個人の用ということであれば、議会に報告するのが当たり前だと思ひます。そういう義務を怠っていることは、無責任な行為と思ひますが市長と議長の考えを伺ひます。

**A** 宮嶋市長 自分個人の用があり、自宅に戻っておりましたが、すぐに霞ヶ浦庁舎に行き、災害対策本部を立ち上げた次第です。会期中でありましたが特別職ということで土日も全然ないため、その都度、自分の用事等もあるため、特に平日においては適宜自分の用をなすようにしてまいりました。今後庁舎外に出る場合は、議会に報告するということをしてまいりたい。

**A** 小座野議長 市長が議会を招集しているため、待機することは当然であると認識している。

**Q** 災害対策は、対策本部の指揮命令系統が動き届いていなければ、職員は適切に指揮命令が機能せず非常に欠けていたと思ひますが、本部長である市長の考えは。

**A** 宮嶋市長 経験上初めての震災であり、いろいろな対応について多少不備なところもあると思ひます。また、余震も続いている中、油断はできないわけですので、今回を反省材料とし、今後の対応に生かしていきたい。



## 総務委員会

### ○委員会付託案件の審査

(3月4日、8日、9日開催)

#### 付託案件

- 副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定について
- かすみがうら市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市行政組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- かすみがうら市光をそそぐ交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- かすみがうら市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成22年度かすみがうら市一般会計補正予算(第7号)の内、総務委員会の所管に関する歳入歳出予算の補正、繰越明許費、債務負担行為の補正、地方債の補正について
- 平成23年度かすみがうら市一般会計予算の内、総務委員会の所管に関する歳入歳出予算、地方債、一時借入金、歳出予算の流用について

- 土浦石岡地方広域市町村圏協議会の廃止について
- 建設業協会の経営改善等に関する請願書

#### 審査内容

**Q** 財政が厳しいから副市長を置かないというのに、12月にも議会に提出して否決されている副市長の給料減額についての条例をなぜ出してくるのか。

**A** 副市長を置かなければ条例の改正をして置かないような措置をするわけで、そこまでは言っておりません。市長の考えは適任者がいればその時点で置くということだと思います。

**Q** 光をそそぐ交付金基金の具体的な計画書のようなものは、作成されているのでしょうか。

**A** 平成23年度、24年度の2年間で取り崩して使うということです。内容の具体的な計画は、図書館の司書増員と、配偶者への暴力行為に係るハートフル相談員の設置に、2年間で1050万円を充てます。

**Q** 市長交際費について、平成23年度が180万円、平成22年度が230万円ですが、執行実績を伺う。

**A** 平成21年度の決算で申し上げますと、230万円の予算で138万9280円の執行です。平成22年度は230万円の予算で、2月末現在で108万8500円の支出です。

**Q** 商工会500万円、シルバー人材センター1200万円の補助金削減は、補助金等審議会委員が決定した内容か。最終的には市長が決定したということか。

**A** 補助金等審議会の答申の中には減額という内容は入っておりますが、具体的な金額までは入っておりません。最終的には市長査定を受けて予算編成をしていきますので、そういう作業の中で決定をしたこととなります。

**Q** 報酬審議会委員の報酬を計上した理由について伺う。

**A** 全員の委員が辞職しましたので現在は委員はおりませんが、必要に応じいつでも委嘱することができますように報酬は予算計上しております。

**Q** 霞ヶ浦庁舎管理事業の中で自動ドア保守委託24万9000円とあるが、千代田庁舎の保守委託費が6万8000円で約4倍の額になっていますが、その違いについて伺う。

**A** 新年度から新たに委託しますが、自動ドアのメーカーが違うことと、千代田庁舎は自動ドアが1箇所であるのに対し、霞ヶ浦庁舎は二重の自動ドアが2箇所あることです。

**Q** 法律では目的に従った款項に区分しなくてはならないとなっているが、目的を明らかにしている石岡地方斎場整備についての予算を予備費に計上している理由を伺う。

**A** ご指摘のように規定があります。今回は、石岡地方斎場組合の決定事項と市長の考え方が合わないため、特例計上になったと思います。



# 文教厚生委員会

## ○委員会付託案件の審査

(3月4日、8日、10日、11日、17日、18日開催)

### 付託案件

- かつみがうら市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
- かつみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- かつみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- かつみがうら市公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成22年度かつみがうら市一般会計補正予算(第7号)の内、文教厚生委員会の所管に関する歳入歳出予算の補正、繰越明許費、債務負担行為の補正について
- 平成22年度かつみがうら市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 平成22年度かつみがうら市老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度かつみがうら市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 平成23年度かつみがうら市一般会計予算の内、文教厚生委員会の所管に関する歳入歳出予算、継続費について

● 平成23年度かつみがうら市国民健康保険特別会計予算

● 平成23年度かつみがうら市後期高齢者医療特別会計予算

● 平成23年度かつみがうら市介護保険特別会計予算

● 保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

● 陳情書「補助金減額見直しをお願いについて」

### 審査内容

**Q** 国民健康保険税の税率の改正を最終的に決断したのは、宮嶋市長本人か伺う。

**A** 市長選挙に臨む際、国民健康保険税引き下げを公約として訴えた内容を満たすものと考えております。一部、保険税が上がる世帯がありますが、近隣市町村並みになったというところで、市長である私が最終決断をしました。

**Q** 国民健康保険被保険者は、国保加入者以外の方にも国保への負担をいただくことで国保税を安くすることができるとは、一般会計からの繰入金を含めこれまで以上に増やすことは、公平、公正といえるのかを伺う。

**A** 国保については、誰も巡り巡ってくることで、保育所の子どもや学校の児童の負担をみんなが出し合うという考え方にたてば、ご理解得られるのではないかと考えております。

**Q** 民生費の中で医療福祉費1084万2000円の増額の内容について伺う。

**A** マル福に該当する部分でございまして、具体的には、当初見込んだよりも乳幼児等の分の受診者が増えたという内容です。

**Q** あじさい館のトレーニングルーム改修について伺う。

**A** 館内の食堂が撤退するため、管理上の理由から、その食堂部分を改修してトレーニング室として使うという内容です。



▲志筑小学校新築校舎建設の進捗状況の調査



▲下稲吉中学校校舎耐震補強工事の竣工状況の確認

## 産業建設委員会

### ○委員会付託案件の審査

(3月4日、7日、8日、10日、11日、17日開催)

#### 付託案件

- かすみがうら市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成22年度かすみがうら市一般会計補正予算(第7号)の内、産業建設委員会の所管に関する歳入歳出予算の補正、繰越明許費、債務負担行為の補正について
- 平成22年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 平成22年度かすみがうら市水道事業会計補正予算(第2号)
- 平成23年度かすみがうら市一般会計予算の内、産業建設委員会の所管に関する歳入歳出予算について
- 平成23年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算
- 平成23年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成23年度かすみがうら市水道事業会計予算
- 市道路線(㊦五四号線)の変更について
- 市道路線(㊦二五八七号線)の認定について
- 市道路線(㊦二八九七号線)の認定について

- 請願書「ハツ場ダム等水源開発の検証検討について」
- TPP交渉参加反対に関する緊急請願
- かすみがうら市商工会市補助金に関する請願書

#### 審査内容

- Q** 土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例の一部改正で、事業に用いる土砂等について茨城県内から発生したものであること、ただし市長が認めた場合はこの限りではないとあるが、市長が特に認めた場合とはどういう内容か伺う。
- A** 県外であっても公共のストックヤード、そういうものについては認めてもいいのではないかと考えます。

- AQ** 企業立地促進助成金について伺う。
- A** 市内に新規で立地する、あるいは、増設をする企業に対し、設備投資額の5%を3年間に分割をして助成をする内容です。

- Q** 艇庫の管理運営で、前年度より若干金額が上がっている理由。また、ドラゴンボートはもう何年もやっていないが、再開する計画はあるのか伺う。

- A** これは管理運営の部分ではなくて、土地の借上料について課税と賃借料を訂正した中で、一部引き上げる件があり4万2000円増額しております。ドラゴンボートについては木造船であり、耐用年数も

経過していることから廃棄の方向で検討をしています。

### ○所管事務調査

(3月23日開催)

#### 現地調査

- 災害復旧状況の確認について

### ○閉会中に行われた委員会

(4月6日開催)

#### 審査内容

- 東日本大震災に係る被害対策について



▲被災状況について説明をうける(市道㊦6号線、新治橋付近)

# 一般質問

## 古橋 智樹 議員

**Q** 国民健康保険税の資産割をさらに是正する考えは

**A** 当面は、今回改正する水準でまいりたい

**Q** 国保税の資産割は目標としてゼロとしたい。当市は市街化もあれば無指定区域もあり、同じ坪数でも差があります。今回の国保税の改正で選挙公約を果たしたということではなく、資産割をさらに是正するという姿勢を持つべきだと思いますが、市長の考えを伺う。

**A** 宮嶋市長 国保の加入世帯の現状等からみると、当面は今回改正する水準でいいと感じています。

今後、そういったところは注視し、審議会等のご意見も伺いながら取りをやっていきたいと思います。

**Q** 石岡地方斎場の移転についての協議が長引き、建設等の計画も宙に浮いたままになってしまつては、この時間の経過は不利益であると思う。市長は、これまでの合意形成、組合議会の中で締結した経過を余り尊重していない印象を受けるが、これまでの時間、予算、計画は全部水に流すという考えなのか伺う。

**A** 宮嶋市長 多少の見直しは小美玉市、石岡市と合意しているわけですが、ただ、最終的な合意に至らなければ事業は進みませんから、話を続ける必要があると考えております。今後も事業自体が遅れることのないように、話をしていきたいと思ひます。

### 質問事項

- 1 国保税資産割の改善と均等割の公平なバランスについて
- 2 近隣市町村との外交の利益について
- 3 特別会計や補助金、人件費の秩序なき合理化について



▲現在の石岡地方斎場

## 佐藤 文雄 議員

**Q** 国民健康保険加入者の負担能力に応じた国保税への引き下げについて伺う

**A** 税率改正は、中間所得者層の税負担軽減を考慮し行つた

**Q** 今回の国保税改正は、世帯の国保加入者に応じて計算される均等割を大幅に引き上げた結果、所得が少なく固定資産税が賦課されていない世帯及び加入者数が多い世帯にとっては引き上げとなる。市長が選挙で掲げた「国保税引き下げ」の公約に違反するのではないかと。

**A** 市民部長 現在の状況から推計すると、資産割が含まれず所得割も低い軽減世帯が1200世帯程度ですので、これらの世帯は平成20年度と比較しますと引き下げになります。平成21年度と比較しますと引き上げになると考えます。応能割の割合を50%に近づけ、軽減対象世帯に比べて中間所得者層の税負担が重くなっている状況を改善することが、公平な医療受給に対して公平な税負担を求めると考えたためです。

**Q** 景気が低迷するなか、住宅リフォームを市内の業者に発注すると補助が受けられる「住宅リフォーム助成制度」の創設を求めてきたが、その検討結果について伺う。

**A** 環境経済部長 平成23年度の新規事業として予定しています。補助制度の概要は、リフォームに要する経費に対し補助率は10%で上限10万円とします。予算規模は500万円としているので、この制度による波及効果は少なくとも5000万円を超えるかと試算しています。

### 質問事項

- 1 入札制度の改革で「談合入札」を根絶し、適正な価格での公共事業の発注について
- 2 小規模工事契約希望者登録制度及び住宅リフォーム助成制度の導入による地元中小業者の仕事先の施策について
- 3 生活排水対策における公共下水道事業の全面的見直しについて
- 4 国保加入者の負担能力に応じた国保税への引き下げについて
- 5 介護保険特別会計の黒字分を保険料の引き下げに廻すことについて
- 6 向原土地区画整理組合への税金投入問題について
- 7 基本水量の見直し水道料金の引き下げを
- 8 石岡地方斎場移転計画の見直しについて
- 9 未来につながる子育て支援の充実について





## 山本 文雄 議員

**Q** 下稻吉小学校改築について伺う

**A** 児童の安全を第一に整備を図ります

**Q** 下稻吉小学校の改築は長年の課題であり、市民や父兄の悲願でもある。この問題については、平成22年度からの継続事業として校舎の整備計画が進められているようだが、その全体計画について伺う。

**A** 教育部長 現在は実施設計を進めており、耐力度調査により危険建物と判定された普通教室棟や、耐震診断調査で耐震性が極めて低いという建物、さらに耐震性に劣り、過少な面積のため支障のある体育館について、児童の安全を第一に整備を図ります。

中央校舎及び東校舎の整備については、屋内運動場改築工事の発注の後、合併特例債の活用期限と事業費等の検討を加えた上で判断します。

**Q** 現在の保育所を民間に委託していく考えはお持ちか。

**A** 保健福祉部長 平成16年度から公立保育所に対する運営費、施設整備に対する国・県の義務負担が廃止され、一般財源化されました。このような状況から、市では施設の老朽化への対応と、効率的な運営への転換を図るとともに、保育サービスのさらなる充実を図るため、保育所の統合を実施し、民営化を進めてきたところで、それらを踏まえ、今後も民営化を検討したいと考えています。

### 質問事項

- 1 行政改革の推進と事業仕分けの導入について
- 2 職員の意識改革と人事システムの確立について
- 3 下稻吉小学校の整備促進について
- 4 保育行政の充実について
- 5 板橋区との交流事業の促進について
- 6 まちづくりの推進について



▲民間委託している保育園

## 栗山 千勝 議員

**Q** 今回断念した中学生までの医療費の無料化について伺う

**A** 平成24年度からの実施をめざしたい

**Q** 中学生までの医療費の無料化について財源根拠のない予算はあり得ない。今回断念したというが、この点について伺う。

**A** 宮嶋市長 昨年9月の定例会から条例案を提案しておりますが、財源がどうなっているのかということでも否決になりました。平成23年度は国保税の引き下げを最重要課題としたことから、平成24年度からの実施を目指したいと考えており、財源については、補助金削減、事業費の見直し、また人件費の削減により財源を捻出する考えです。

**Q** 市長の情報発信について、いいことはどんどん発信してほしいと思うが、市長が4年間だけしかやらないという情報の事実関係について伺う。

**A** 宮嶋市長 行政がどういう方向に行っても4年間しかやらないということはないと思います。1期4年で、きちんとした行政を確立するということが、特に土浦市との合併を進める方向で今考えております。自分の任期残り3年半をいっぱいやって、ここで燃焼し切るという覚悟でやるという意味では、1期で完成するという心構えを持っております。

### 質問事項

- 1 無理無駄のない市政運営について
- 2 有害イノシシ対策について
- 3 政治団体届と政治活動について
- 4 昨年秋季の懲戒処分について
- 5 市長の政治姿勢について
- 6 職員の教育について
- 7 各種補助金について



## 中根 光男 議員

**Q** 子宮頸がんワクチン等の国の補助が1年限りの場合の考えは

**A** 平成23年度の実績等を踏まえ検証したい

**Q** 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの国の補助事業が平成24年度以降の見通しが未定だが、もし1年限りで国の補助ができないという結論に至った場合の考えを伺う。

**A** 宮嶋市長 国が出さないから市もやらないという単純な話ではないと思います。平成23年度の実績などを踏まえながら、市単独で、例えば半額出していくかどうか等の助成措置の必要性を検証しなくてはならないと思います。

**A** 保健福祉部長 被接種者に対し接種率を高めることは、将来の医療費抑制にも影響するため、何らかの助成措置を講じる必要があると考えます。

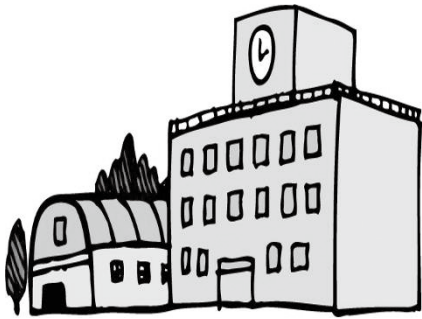
**Q** 子どもをいじめから守るためには、その芽を摘み取る早期の対応が重要で、学校はもろろんのこと、社会を挙げたいじめ対策が急務である。統廃するいじめについて教育委員会と各学校との情報は共有しているのか伺う。

**A** 菅澤教育長 学校訪問や定期的な調査を実施したり、学校との連絡体制を整えたりして、日ごろから情報の共有に努めております。

また、保護者からいじめの訴えがあった場合には、学校関係機関と連携し、児童生徒の支援と当該保護者への対応に努めております。

### 質問事項

- 1 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの実施計画について統廃する「いじめ」について
- 2 小・中学校の障害者に対して、デジタル教科書の導入について
- 3 小・中学校の冷房化について
- 4 農業再生ビジョンについて
- 5 民俗資料の収集と保存について



## 山内 庄兵衛 議員

**Q** 石岡地方斎場の移転について市長の考えは

**A** 考え方の合意には至らないが、基本的に必要と考えます

**Q** 今回の選挙は斎場の選挙であったと感じる。市長は市民の声には応えなくてはならないと言ったそうだが、旧千代田町の大半の市民は、斎場が完成することを望んでおり、何とか早くしてほしいということだが、市長の考えを伺う。

**A** 宮嶋市長 市民福祉の向上を念頭に、厳しい財政状況を踏まえ、少しでも無駄を省くことで、石岡地方斎場組合に対し幾つかの提案を申し上げています。残念ながらまだ、正副管理者会議での合意には至っていないのですが、現状からは、斎場の移転建設については、基本的に必要と考えております。また、3市での話し合いによる歩み寄りの中からは、火葬炉の6基についてもやむを得ないと考えています。

**Q** 上佐谷から雪入までの市道⑤52号線は、反対する地権者がおり三百メートルが拡張できていない。当時の会議の書類がないが、どうしたのか伺う。

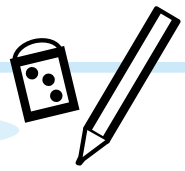
**A** 土木部長 当時の地権者説明会の記録等について確認したところ、地権者個人との交渉記録は存在しておりましたが、説明会等の記録は現時点では確認ができませんでした。用地交渉経過から一部の地権者の合意が得られず、用地確保は困難と判断され、現在事業を中断している状況であります。

### 質問事項

- 1 石岡斎場組合について
- 2 土木行政について
- 3 市道⑤52号線道路改良工事について
- 4 市道⑥6号線の工事について
- 5 福祉行政について



▲市道⑤52号線（上佐谷地内）



5月	4月		3月	2月
<p>9日 議会だより編集特別委員会</p> <p>28日 議会だより編集特別委員会 産業建設委員会</p> <p>27日 議会運営委員会 産業建設委員会 東日本大震災に関する国への緊急要望活動</p> <p>6日 議会だより編集特別委員会 産業建設委員会</p> <p>5日 議会運営委員会 産業建設委員会</p>	<p>29日 議会運営委員会、全員協議会 土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会臨時会</p> <p>24日 議会運営委員会、全員協議会</p> <p>23日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>18日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>17日 議会運営委員会、全員協議会</p> <p>15日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>12日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>11日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>10日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>9日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>8日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>7日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>4日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p> <p>1日 文教厚生委員会、産業建設委員会</p>	<p>3月1日～3月24日 第1回定例会</p> <p>22日 議会運営委員会、全員協議会</p> <p>21日 新治地方広域事務組合議会定例会</p> <p>18日 湖北環境衛生組合議会定例会 茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会</p> <p>17日 茨城県南市議会議長会定例会</p> <p>16日 石岡地方斎場組合議会定例会</p> <p>15日 茨城県南市議会議長会定例会</p>	<p>15日 茨城県南市議会議長会定例会</p>	



## 議会の検査権とは？

議会が、事務に関する書類や計算書を検閲し、長等の執行機関から報告を徴して、事務の管理、議決の執行及び出納を検査する権限のことをいう。

(地方自治法第98条第1項)

検査の方法は、

- ① 書類及び計算書の検閲
- ② 長やその他の執行機関からの報告を求めること

検査は、一般的に議会が必要と認めるときは、市政全般について行うことができることとされている。

検査の結果に基づいて、議会がどのような処置をするかは、議会側の任意である。議会は、これを予算、条例等の議決権を行使する際の参考とするほか、長その他の執行機関に対する責任追及や関係行政庁に対する意見書提出に結びつけるなどの取扱いが見受けられる。

平成23年

## 第2回定例会のお知らせ

かすみがうら市議会第2回定例会は6月10日(金)から開会予定となっております。会期日程(案)については、お知らせ版に掲載いたします。

## 編集後記

3・11、歴史の上でも忘れ得ない日になってしまいました。被災者の皆様には、心からお悔みとお見舞いを申し上げます。東日本大震災、マグニチュード9.0という、まさに未曾有の大地震であり、それに伴う大津波、福島原発の事故、人類がかつてみまわれたことのない三重の災厄でありました。

震災当日は当市議会も各常任委員会の最中であり、本会議場の天井が破損するなど大きな被害に遭遇することとなったわけでもあります。

市民の皆様方におかれましても、屋根瓦や塀の損壊など多大な痛手を被っている事例が多数見受けられるばかりでなく、さらに風評被害も加わって、先行きに不安を感じているものと思います。

天災はやむなしの面もあり、天は無情な場合もありますが、天災の中にも人間の努力によって防げるものが防げなかったというのでは、諦めきれない人災の面が色濃くなつてまいります。このときこそ政治の責任が問われることになるわけですね。そして、一度起きたことは起きたこととして速やかな復興に全力をあげることにより、被災者をこれ以上不幸にさせない、まさに、「最小不幸社会」を政治の要諦と標榜している政治家の真価が問われるときでもあります。これは、国・地方を問わず政治・行政に携わる者すべてが改めて肝に銘ずべきことでもあります。

議会だより編集委員 田谷 文子

### お問い合わせ